



北海道バスケットボール協会
指導者育成専門委員会
2015/03/09(月)

タクティクス (HBA指導者育成専門委員会ブログ)

NO. 166

第27回 北海道高等学校バスケットボール新人大会 (女子)

2月11日(水)～14(土) 旭川市

北海道バスケットボール協会強化委員会
指導者育成専門委員会委員 永野 博子

「札幌山の手、3年連続の優勝 海星学院、3年連続決勝進出！」

今大会は、厳寒の旭川大会と思いきや2月としてはめずらしくみぞれ混じりの日があり比較的暖かい3日間の中で各地区の激戦を勝ち抜いてきた32チームの熱気ある試合が展開された。また今大会は1・2年生作る新チームにとっては初の全道規模の大会であり技術面、体力面においてまだ未完成の時期ではあるが新人戦らしいはつらつとしたプレーが随所に見られた大会だった。

結果は

優勝 札幌山の手高等学校
準優勝 海星学院高等学校
3位 札幌東商業高等学校
3位 帯広南商業高等学校

決勝	札幌山の手	87-66	海星学院
準決勝	札幌山の手	75-63	札幌東商
準決勝	海星学院	63-39	帯広南商
3・4戦	札幌東商	83-53	帯広南商

ベスト5

最優秀選手賞	#15	久米捺美	(山の手)
	#7	長岡侑里	(海星)
	#6	井上実都季	(山の手)
	#11	バレット・ニッキイ	(東商)
	#5	大澤未彩	(帯南商)

受賞者の皆さんおめでとう!!これをバネにして今後の試合に向けて技術を磨き、チームを引っ張ってほしいと願う。

以下、今大会の感想

優勝した札幌山の手は、3年生が主体だったチームが一新、新メンバーで臨んだが準々決勝までは他チームを圧倒した。しかし、準決勝の東商戦。ここ数年圧勝してきたチームに前半13点のビハインドで思わぬ苦戦を強いられたが、後半#15のゴール下と#18のスリーポイントと激しいディフェンスで勝利した。

決勝では海星の健闘むなく難なく今大会 3 連勝した。

2 位の海星は #6 のポイントガード #7 のセンターを中心にバランスのとれたチームでナンバープレーを中心に決勝まで進んだ。2 回戦は対創成戦で一時 20 点差をつけられたが 2 点差で下した。対東海戦は #6 が終了間際前十字靭帯を断裂する怪我に見舞われた。今大会で #6 のガードとしての能力はナンバーワンに匹敵するプレーヤーとして思っていたので非常に残念だった。治療に専念し又元気なプレーを見せてほしい。また、#7 はポストプレーのみならず幅広いプレーを見せてくれた。将来楽しみな選手、大事に育ててほしい。

3 位の東商戦は難なく準決勝まで勝ち進み、対山の手戦ではこれまで幾度となく完敗していたチームを、若いチームでここまで善戦した戦いぶりは見事であった。とくに長身選手がいない中、各ポジションの仕事を忠実にやり、スキのないプレーでベスト 4 を維持した。

同じく 3 位の帯南商は、2 回戦でシード校のとわの森を破った旭川龍谷を一蹴しベスト 4 へ、昨年のインターハイのメンバーがそのまま残り各試合 1P まで目を見張るプレーを展開するも徐々にスタミナ不足が出て自分たちのプレーを発揮できずに終わった。今後の成長に期待したい。

今回のシード校山の手高校以外はすべて 1・2 回戦で姿を消したが、チーム力はさほど差がないように思われる。今年度のゲームはすべて終わり、4 月には新入生も加わり新しいチーム作りになるであろうベスト 4 に入賞したチームはもとより他のチームも 6 月の全道大会までに目を見張るようなチームを育ててほしいと期待している。

最後に 3 日間の大会期間中、旭川地区協会、各校の先生方、部員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。